

旧瓢箪堀



**10 弓櫓跡**  
徳島城内で最大の櫓台。西の大手筋の最奥に位置しており、初期の天守が置かれていたとも考えられている。



**9 搦手門**  
本丸北側に位置し、御座敷の地下から場外(助任川)に通じていた埋門。



**8 本丸北側の石垣**  
文禄～慶長期頃の石垣。加工した石材を使い始めている。算木積みもほぼ完成に近い。



**7 本丸**  
標高約61m。御座敷、武具櫓、馬具櫓、弓櫓、火縄櫓、留守番所などが置かれていた。



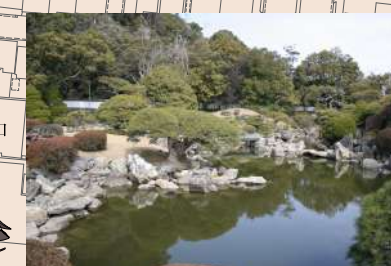
**6 本丸東端の石垣**  
徳島城で最も古い天正期の石垣。自然石の野面積みが素晴らしい。



**5 東二の丸**  
標高約40m。三層三階の天守が置かれていた。文禄～慶長期頃の石垣が良好に残る。



**4 数寄屋橋**  
城の鬼門の方向に位置し、旗櫓の下にあった数寄屋門(不明門)は凶事の時以外は開けなかった。



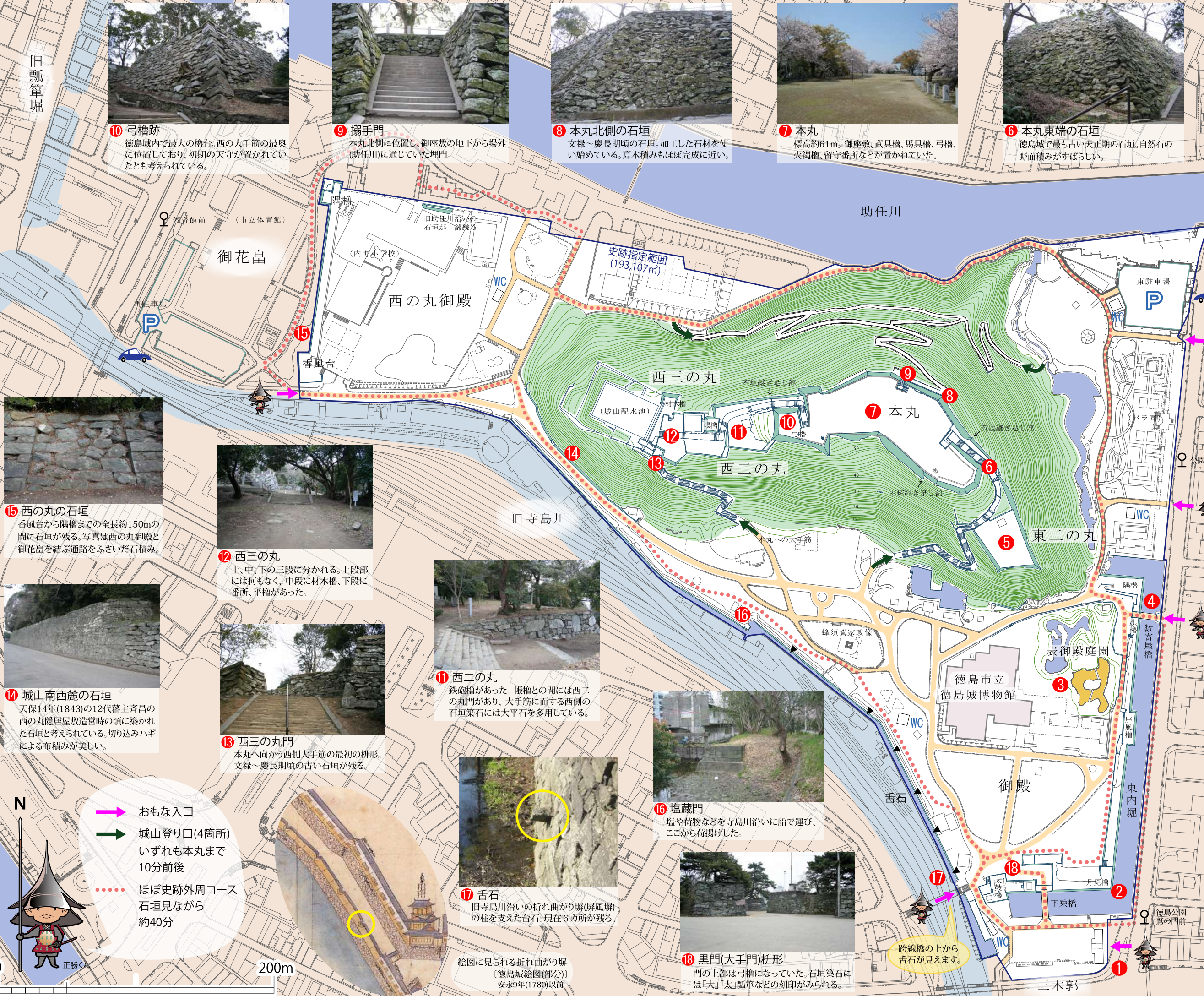
**3 旧徳島城表御殿庭園**  
枯山水と築山泉水庭で構成された回遊式庭園。茶人武将上田宗箇の作庭といわれる。昭和16年(1941)に国の名勝に指定された。



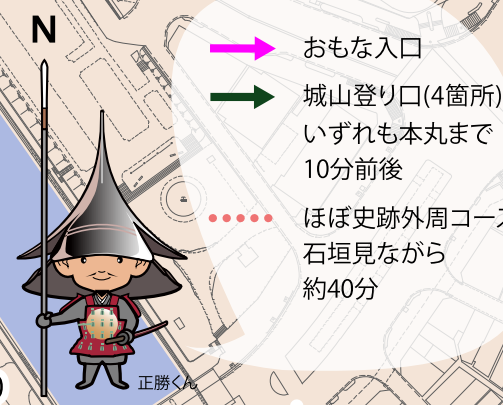
**2 月見(着見)櫓跡と東内堀**  
出窓付き三階建入母屋屋根の櫓があった。堀沿いの石垣は元和～寛永期頃のものが中心。モザイク状の小さな間詰石が美しい。



**1 鷲の門**  
徳島城の表門で脇戸付の薬門。昭和20年(1945)に戦災で消失したが平成元年(1989)に復元された。



おもな入口  
城山登り口(4箇所)  
いずれも本丸まで10分前後  
ほぼ史跡外周コース  
石垣見ながら約40分



0 200m



**11 西二の丸**  
鉄砲櫓があった。帳櫓との間には西二の丸門があり、大手筋に面する西側の石垣築石には大平石を多用している。



**15 西の丸の石垣**  
香風台から隅櫓までの全長約150mの間に石垣が残る。写真は西の丸御殿と御花島を結ぶ通路をふさいだ石積み。



**14 城山南西麓の石垣**  
天保14年(1843)の12代藩主斉昌の西の丸隠居屋敷造営時の頃に築かれた石垣と考えられている。切り込みハギによる布積みが美しい。



**12 西三の丸**  
上、中、下の三段に分かれる。上段部には何もなく、中段に材木櫓、下段に番所、平櫓があった。



**13 西三の丸門**  
本丸へ向かう西側大手筋の最初の枅形。文禄～慶長期頃の古い石垣が残る。



**17 舌石**  
旧寺島川沿いの折れ曲がり堀(屏風堀)の柱を支えた台石。現在6カ所が残る。

絵図に見られる折れ曲がり堀(徳島城絵図(部分))  
安永9年(1780)以前



**16 塩蔵門**  
塩や荷物などを寺島川沿いに船で運び、ここから荷揚げした。



**18 黒門(大手門)枅形**  
門の上部は弓櫓になっていた。石垣築石には「大」「太」「瓢箪」などの刻印がみられる。

跨線橋の上から舌石が見えます。